



全国都市緑化ふくおかフェア・花と緑の屋外出展コンテストで大賞・国土交通大臣賞を受賞した「私の隠れた家」(福岡県支部作品)

# 快挙！福岡県支部 写真で紹介～大賞

造園連組合員も多數入賞

全国都市緑化フェア  
庭園コンテスト

◆茶室は3帖畳みとし柱。屋根裏は竹でまとめ落ち着いた空間となつた。小麦藁の屋根は最近ほどんど見かけなくなつた。



\*以下、庭園内を撮影した写真 5 点掲載、青年部庭園写真 1 点掲載

ぶり昭和30年以前の里山、大  
入り、石を踏み、庭門より  
徳寺垣（中仕切り）もそれに  
緩やかな上りとし大  
添うにし、又、目線の  
わないうい垣根の高さとした  
合わない垣根の高さとした



コンテストでは福岡県本部青年部も金賞を受賞、支部と青年部でダブル賞となつた。大賞を受賞した福岡県支部の庭「心身の憩いの場所としての隠れた家」は、昭和20年頃までの里山をイメージした150m<sup>2</sup>の庭園。第2の庭と住まいを考えることを提案した。竹林でつくった茶室・待合室

造園連福岡県支部（小柳隆輔支部長）が、「第22回全国都市緑化ふくやま花フェア（アイランド花どんたく）」の、花と緑の屋外展コンテストで大賞・国土交通大臣賞を受賞した。写真を中心とした大賞受賞庭園を紹介する。

。にをじ綠化小第

みどりのひとつ。作  
にあたっては研修会の方  
を採用し、支部長・副  
部長が講師となり、組  
員等が研修生として参  
して技能研修もかねて

「私の隠れた家」(社日)  
本造園組合連合会福岡県  
優秀賞・福岡市長賞  
「蕩蕩」(株)那乃津園芸  
金賞 「見て、育てて、



▲広い道より大石を使ふり奥奥へ行くにいたり、細く絞り、小ぶりの石を敷き、奥へ出しだした。



▶山あいの滝といで、多くは壺流といふのが多い。



◆石段を下りた先に、水を流れより導き四方仏へ灌ぐ



福岡県支部青年部作品「スパイラル（螺旋）と水と光の景」

# 日本庭園に映える…… 伝統工芸の手彫り 出雲石灯ろう





と今後の行事内容の検討

\*1面の企画総務部外委  
員会の記事続き  
また「各種会議・委員会の効率的な運営」では、  
造園連の通常総会と、賛助会員の製品展示会を同  
時開催する企画を検討し、  
来年度実施に向けて取り組むことになった。  
組むことになった。  
続いて「造園感謝祭・  
伊勢神宮奉納行事の実施  
の合同会議で、第32回の  
について検討を行つた。



万人から応募があつた注

号では、建物、庭園など

伝統技法が駆使されたた

たすまいを70頁余に及ぶ

写真を中心に紹介。造園

はもちろんのこと、截金、

京指物、数奇屋大工、七

宝磁器、左官、石造工

号では、建物、庭園など

様々なニュース番組等で

も取り上げられており、

一般公開の見学申し込み

には定員5500人の30

倍近くにあたるおよそ16

館は今年4月に完成以

が発行された。京都迎賓

館は今年4月に完成以